

苫小牧港での電気運搬船と蓄電池の利活用による 港湾脱炭素化と地域振興に向けた包括協定を締結

株式会社パワーエックス

株式会社パワーエックス（本社：東京都港区、代表：取締役兼代表執行役社長 CEO 伊藤 正裕、以下パワーエックス）は、苫小牧港管理組合（管理者：苫小牧市長 岩倉 博文、以下同組合）と、電気運搬船及び蓄電池の利活用による苫小牧港の港湾脱炭素化推進及び地域の振興に向けた包括連携協定を締結しました。

【協定の主な内容】

- 港湾脱炭素化推進のための、港湾内における車両 EV 化、臨海部における蓄電池を利活用した陸電設備の導入等を検討する。
- パワーエックスは電気運搬船で運ばれた再生可能エネルギーを、苫小牧港臨海部に立地する企業や埠頭等で利活用することを検討する。
- 苫小牧港管理組合は、電気運搬船事業の実現にむけて、苫小牧港における港湾施設の利用調整及び港湾施設の占用等について協力をを行う。
- パワーエックスと苫小牧港管理組合は協力して、苫小牧港立地企業等とも連携を図りながら、苫小牧港臨海部における再生可能エネルギーの貯蔵・供給・利用の促進について検討し、港湾脱炭素化推進、新しい産業の創出及び災害時の電力確保による地域のレジリエンス向上に取り組む。

【苫小牧港管理組合について】

名称	苫小牧港管理組合
設立	1965 年 7 月
代表者	管理者 苫小牧市長 岩倉 博文
所在地	北海道苫小牧市入船町 3-4-21 ハーバーF ビル 3 階
事業内容	苫小牧港の管理・運営（地方自治法第 284 条第 2 項に基づく一部事務組合としての特別地方公共団体かつ港湾法第 33 条に基づく港湾管理者）
URL	https://www.jpkmk.com/

【パワーエックスについて】

会社名	株式会社パワーエックス
設立	2021年3月22日
代表	取締役兼代表執行役社長 CEO 伊藤 正裕
所在地	東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウンタワー43階
事業内容	大型蓄電池の製造・販売、EVチャージステーションのサービス展開、及び電気運搬船の開発・製造
URL	http://power-x.jp/

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

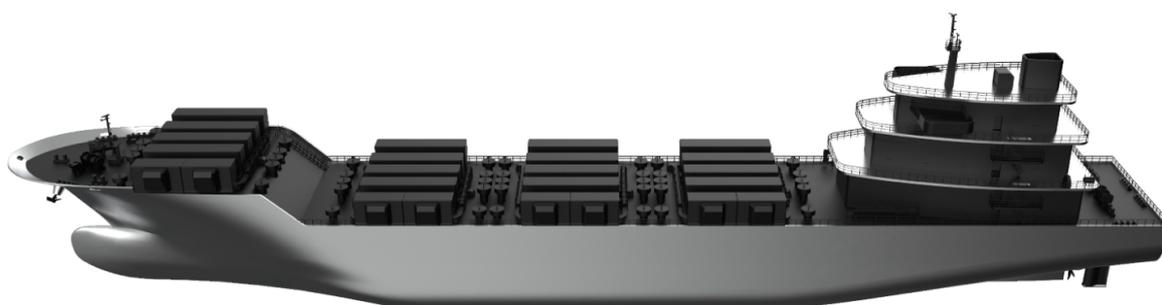
株式会社パワーエックス 社長室 広報担当：大津

電話：050-1754-0205, Email: pr@power-x.jp

参考資料：パワーエックス社の電気運搬船について

電気運搬船は、船に搭載した蓄電池に蓄電し、電気を海上輸送するという世界初の送電技術です。我が国は 2050 年までにカーボンニュートラルの達成を目標に掲げ、洋上風力を中心に再生可能エネルギーの導入を促進しています。一般的に再生可能エネルギーは、導入ポテンシャルが大きい供給元と電力の需要地が離れている場合が多く、大量導入には送電手段の強化が課題の一つとなっています。そこで、電気運搬船はこれらの課題の解決手段として可能性が期待されています。

パワーエックスでは電気運搬船の初号船「X（エックス）」は 2026 年から国内外において実証実験を開始する予定です。この船の総蓄電容量は 240MWh。これは一般家庭 2 万 4000 世帯が 1 日に消費する量に相当します。



【画像】電気運搬船の初号船「X」の完成イメージ

Battery Tanker X Power Ark 100 Proof of Concept

Specification

船長	147.0m
船幅	19.0m
喫水	5.5m
GT	約9,200 MT
航行可能距離	300km（電気推進のみ）
通常速度	10 knots (Max. 14 knots)
搭載電気容量	240MWh
充放電時間	各3時間
搭載蓄電池	LFP
船級	Class NK
船籍	日本



Confidential and Proprietary, PowerX, Inc.

※現時点の設計であり今後の検討により変更の可能性あり。